

経済ポケット ジャーナル

★「火」と共に80年

昨年10月19日で創業80周年を迎えた大阪ガス株式が、その記念として、社史『明日へ燃える』を刊行した。



大阪ガス社史
『明日へ燃える』

「人類が火を使ったときから文明がはじまる」

というプロログでスタートするこの歴史絵巻は、一社史でありながら、日本が80年間に辿ってきた道程をもみごとに映し出し、同社の公共性の高さを物語る。保安対策の充実や天然ガス転換の推進、新分野事業の展開など、同社が抱えてきた課題や21世紀に向けてのテーマが400ページの中に満載。口絵をはじめカラフルな写真やイラストで年代を追って解説され、興味深く読める内容となっている。



★頭脳集団「コナミ」

ポートアイランドに進出
「21世紀のハイテク企業」を目指す総合ソフトウェア・コナミ工業(大阪)が、上場2周年を記念し、本社機能・開発拠点機能を兼備した自社ビルを、8月25日、ポートアイランドにオープンした。



新本社ビル
高の開
誇る最
内部
には、
同社が

や通信機器が設置され、将来の自由勤務、在宅勤務体制にも対応できるようなネットワーク化されている。又若い頭脳と感性がその創造性をフルに発揮できるように、開発技術者のための各種レジャー施設も充実、頭脳生産指向のビルとなっている。

★三宮センター街がニュー

ヨーク五番街と姉妹提携
商店街のイメージアップと商業情報の交換を目指し三宮センター街連合会はこの程、ニューヨーク五番街と姉妹提携を結んだ。五番



三宮センター街
「ティ
ファニ
」な
どの高

級店が集中する世界的な景観を誇る商業地域。その五番街と姉妹になったことにより同商店街も世界的に認知されることになる。

同連合会では、11月から年末にかけて、記念式典や記念セール、さらに提携一周年の来春には「自由の女神」の模型を建てる構想も進めている。

★「ラビングステーション」

フラワーロードに完成
星電社三宮本店が、7月12日よりフラワーロードに立体駐車場をオープン。60台駐車可能、一時350円。また、それに隣接して、住



立体駐車場

★KOBEOフィスレディ★



「忙しい時は、ほとんど条件反射で仕事をしています」と、典型的B型ぶりを発揮するのは、神戸ポートピアホテルでフロントを担当する岡崎さん。入社して4年目。趣味は茶道、料理、スポーツと静動両刀使いのマルチ派だが、「一人で遊ぶのも好き」と意外な面も。好きな男性のタイプは「神戸みたいな人」(?!) 発展的な神戸の街は理想の男性像そのもの。「そんな人いないかなあ」と目下募集中。垂水区在中。しし座。

岡崎典子さん(25)
〈神戸ポートピアホテル
宿泊部 フロント担当〉

今、日本の風 '24 神戸きものふえすていばる



ユーヤ・ナガハタコレクション (左)「神戸競艇の図」をテーマにしたジャンボ着物75反を使用 (中) きものふえすていばるのイメージマーク (右上)
ジャンボ着物に挑む長谷川忠義氏

TEL 078-332-0301
丸三イトカワ センタープラザ西館二階

・イベントに関するお問合せ
見逃せないイベントになりそうである。
神戸発の「日本の風」光・音・彩。この秋

など和文化を豪華に繰り広げる。
衆の素囃子、東洋と西洋の出会いをテーマにしたユーヤ・ナガハタのファッションショー
は、平安中期から伝えられた麴塵。光によつてさまざまな色を見せる平安の色を、着物、帯あげ、帯じめで展示するほか、長谷川忠義氏の描織綴、野村静枝氏の佐賀錦、藤原友彦氏の彫金、岡本彰氏の笠取窠、そして女の四季をグループ「風」が彩どる人生の装いである。この他、名妓佳つ乃の立札、先斗町芸妓



小物も含めてトータルに見ていただきたいものがいっぱいです
という糸川禎彦専務

和にこだわり、和を超える日本の美、六趣
「神戸は、古典的なものを継続することはもちろん、新しいものをどんどん発表していける街。従来のわび・さび、とは違った感性で着物をとらえていきたい。」と今回のイベントに意欲的。
ローチを企画するのは糸川禎彦専務。

神戸で呉服を扱って17年目「きものの丸三 イトカワ」が、日本を感じ、日本に触れる、'86神戸きものふえすていばるを9月7日(日)~9日(火)神戸国際展示場で開催する。
衣・食・住にわたって和文化を見直そうという流れの中で、様々な異文化を柔軟に受入れてきた神戸の街で、和文化への新たなアプローチを企画するのは糸川禎彦専務。

'86結婚特集／「結婚物語」①

■座談会■

ドーンと勢いで 結婚しよう！

田中 千佳〈作家〉 伊藤 ルミ〈ピアニスト〉

尾上たかし〈放送作家〉 森下 悦伸〈ラジオ関西報道制作部〉

★心は交っていても、単身赴任の気分です。

——今日は「結婚でなあに?!」というテーマで、気楽にお話願えたらと思います。本誌六月号に、田中千佳先生がエッセイを書いて下さったのですが（髪を洗ってもらいたい）それが大変面白いと評判でしたので、その辺から話を始めたい、と思っているのですが。何でも、先ほどお聞きしましたら、先生の旦那様は単身赴任なさ

っていらっしゃるか。

田中 ええ札幌に行ってます。

伊藤 札幌でしたら通うのが大変ですね。それでしたら減多にお会いできないんじゃないですか。

田中 いえ、本社が大阪ですから、会議が月一度あるのと、もう一度、仕事の都合で帰ってきますので、月二回は公式に帰ってこれるんです。月二回というのは、ちょうどいいペースじゃないでしょうか（笑）。

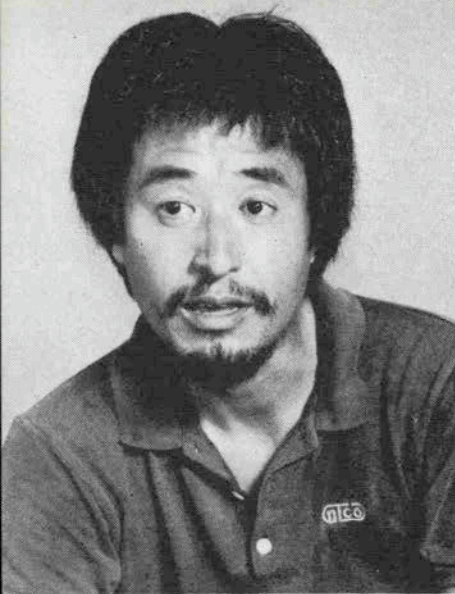
伊藤 私のところも単身赴任。千葉に行ってます。千葉はそんなに遠くないので、行かなくてはいけないみたいでして（笑）。私のところは亭主関白なもので、女が来い、と言う（笑）。

尾上 僕のところは一緒なんですけど、単身赴任に近いんですよ。放送作家になって二十八年ですが、二十八年間全く、土曜、日曜っての無かったんですよ。視聴者参加番組ばかりやっていますんで、土・日は、出場する人達に会いに、全国に行ってるもんですから。それから、今、東京と名古屋にレギュラーの仕事がありますんですよ。すると家で寝るのが、月・火・水曜位になるんですよ。



「私は、子供より主人の方が好きでした」

田中 千佳さん



「男も女も人間としての魅力を持たないと」

森下 悦伸さん



「結婚して、考えてるほど難しくないみたい」

伊藤 ルミさん



「結婚の新しいパターンが生まれています」

尾上たかしさん

木・金・土・日曜はよそで寝ている。うちの女房と結婚して二十五年なんですけれど、正味、十二年位しかしていない。半分、単身赴任ですよ(笑)。

森下 僕ん所は四十九年に結婚して、今年で十二年目で一緒に住んでるけども、気持ちにはもう単身赴任みたいなもんです(笑)。さっきから話を聞いていて、よくまあこれだけ似たような人ばかり集まったもんだ、って感心してたんですよ(笑)。心は交っていても、割と単身赴任ばい人が、僕らの世代にはいるみたいですね。そう言った人は、大体奥さんも仕事を持っていて、そのため自分のことで精一杯だから、あんまり亭主のことを考えてる暇が無いという。

伊藤 お互い一緒にいて単身赴任というのは、実際にそういうこともありえる訳ですか。

森下 ようするに、夫婦とも遊びの夫婦だったような気がするんです。嫁さんが仕事に目覚めた。そしたら、あんまり人のことを考える暇が無くなってしまった。という感じで。

伊藤 奥さんは、どんな仕事をされてるんですか。

森下 嫁さんは、今機を織ってるんですわ。だからますます時間が無くて、人のことをとやかく言わない。僕が遅く帰ってくるとか、女とチャラチャラしてるとか、そんなことは全く彼女の中には無い訳です。ようするに、自分の機を織っている世界に一時でも長くいたい。そう思っているから、精神的に旦那とか言う所が、完全に離れてるんです。だから親類縁者のお付き合いみたいな気がして(笑)。変な話ですけど、時々、風呂に入る時、恥ずかしい気になることがある。前で洋服脱いだりすると十二年という年月もあるんかも分らんけど、仕事が彼女に入ってる割合がすごい大きいから。そう言った意味で単身赴任と言ったんであつて。でも、そう言う夫婦って、僕ら三十代の後半の連中には多いみたいやね。友達夫婦。友達よりも、もう一步突っ込んで親戚夫婦みたいな近親夫婦みたいな。そういう夫婦が、すごい多いです

★この頃は主夫の時代です。

田中 わたくしは結婚してすぐは、外で働いていたんです。わたくしが結婚する条件は、仕事はさせて欲しいということ、子供は生まないということでした。

伊藤 大変、進んでらっしゃったんですね。

田中 いえ、だってね。戦後の頃は民主主義とか、男女同権ですぐ言われてたから、今よりずっと。わたくし達はしっかりしなくちゃいけないと思いましたよ。だから、結婚するから仕事をやめるなんていけないと思ったの。続けて行かなきゃいけないと思って。そう言ったら主人は、「それはいい。僕も家事を分担する」って言うてくれたんですね。でも、それは嘘ばっかりでした(笑)。

「掃除は僕がする」って言ったんですよ。そしたら、全然してくれないの(笑)。「あなたちよっと、約束だから掃除して」って言ったら、「我慢できなくなった方がやらないか」なんて言うんです。ですから、わたくしも一生懸命に我を張って、掃除しなかったんです。そしたら、部屋の隅の方に綿ぼこりみたいなのが、ホワールとしたのが舞い降りてきて、こう積もるんですよ(笑)。そこにパツ／＼と座ると、ほこりがパツ／＼と舞い上がるでしょ、だからスーと座って、スーと立ってね(笑)。とうとう、我慢し切れなくなつて掃除したら、もう終りでした(笑)だから、どうしても女の方が負担が重くなりますね。共稼ぎになったら、仕事が終って、帰ってからお炊事をしなくちゃいけない、つてのが、すごい負担なんですよ。すごく難かしいですよ、二人で働くというのは。

森下 僕は思うんですけど、やっぱり女性が働いた場合に、結局、女性の方が確かにしんどい目をする。だから僕の友達にいますけど、奥さんが働いてはる所つてのは、旦那も帰って来て家事をする。二日に一度するとかね。だから、フイフティー・フイフティーに分けてやつてる夫婦つて、最近多いから、全部女性がエライ目す

ることはないんじゃないかな、つて気がするんですよ。田中 この頃は、男性も家事ができますね。色んなことが便利になってきたから。

森下 昔、それをやってはつた、つてのは、すごい大変だったろうなと思います。

田中 先日、わたくし札幌に二日間、ちよっと他の用事で行ったんですよ。そこで主人に会って、夜、食事で出て、ちよっと飲みに行こうかと言って行ったら、その日が、わたくしの誕生日でしたよ。そしたら、ジャズのライブハウスだったんですけど、主人が何かリクエストしたんです。それで暫くしたら、急に曲がハッピーバースデーになって、わたくしに皆さんで「おめでとう」と言つて下さつて、シャンパンが届いたの。ウチの主人もなかなかいいかすじゃない(笑)。

伊藤 そんな風に教育なさったんじゃないですか。

田中 わたくし離れていて、たまにそういうことがあると、とても嬉しいですよ。そのお返しで、彼の誕生日にバードウォッチングのネクタイを見つけたから贈りましたね。

伊藤 恋愛のちよとした延長みたいな感じですね。

田中 あなたのことは思つてるわよ、つて意思表示を時々するんですよ。

森下 僕ん所は、あんまりそういうのは無いですけど、時々、二人とも酔っぱらったら、夜に一時間位話をします。それで確認しあう。「今何考えてんの」「どこ向いてんの」とか、酔っぱらつてする……。

田中 お酒が飲めるのはいいですね。酔つた勢いで、言いにくいことをちよつと言う。

森下 でも、僕ら三十代ちゅうのは、割とお酒を飲んで言うよりも、シラフで言えることの方が多いような気がするんです。嫌なことは、ちゃんとハッキリ言わんとあかん、という意識があるから。

田中 嫌なことなんかは、やはりシラフの方がいい。

森下 嫌つて表現は難かしいけれども、言えないことは

やはりお酒を飲んでよりも、マジメな方が僕は言えるんじゃないかな、って気がするんですけどね。

田中 マジメに言う、主人がテレたりするんです(笑)
伊藤 シャイな世代ですものね。

田中 昭和三年ですからね。まともにこう、つてのは向こうが恥ずかしがるんです。だから、じゃあお酒がちょっと入れば、聞いてないフリをしても、ちゃんと聞いてくれますからね。スリリと言ったら、なるほど、って顔して、分った、とか言いますから。

伊藤 先ほどの、お誕生日に曲を弾いて、シャンペンをポーンというのは、田中先生の世代になったら、オシャレな感じがします。まだ三十代というのは、そういうのには、ちょっとまだ恥ずかしいって感じ。

★ドーンと勢いで結婚しよう!



田中 わたくしは、子供よりも主人の方が好きでした。子供さえいれば、主人がいなくてもいい、って方がよくありますでしょ。わたくしはそうでなくて、子供より主人の方が好きなんです。

尾上 僕もそうでした。どっちが死んでもらったら悲しいか、って言ったら女房の方が悲しい。

田中 たまに主人が早く帰ってきて、一緒に食事してるよね。子供が主人が珍らしいもんだから、「パパ、パパ」って、一生懸命、主人と話すんですよ。そしたら段々わたくし腹が立ってきて、ちょっと止めて、わたしのパパなんだから」と言って、主人の顔をギョツとこっちにに向けて、「こっただけ見てちょうだい」って(笑)。

伊藤 親友がそれ。「お父さんは私のものだから、来たらダメ」って、五歳位の子に、もう言ってる(笑)。その子供達が「お父さんが一番好きなのはお母さん。お母さんが一番好きなのはお父さん」て言うんです(笑)。

田中 子供の方が可愛いとか、主人がいなくとも子供さえいればいいとか、全然思わない。結婚したのは、相手が好きだから結婚するんであって、その間にできた子供の方が好きだというのは、おかしいと思うんですよ(笑)。正しい道を歩かなきゃいけない(笑)。途中で主役が入れ代わってはいけない(笑)。

尾上 今は、世の中のお父さん、皆どっか脇役の方に行ってますから。

森下 僕も同じですね。変な話、子供って、また創ればできるかも分らんし。でも、嫁さんとか主人ちゅうのは、自分が好きになった人は、もうおらんしね。そう思うと、どっちが大事かと言われたら、そっち取りたいな、って気持ちは、すごくよく判りますね。

——色々と話は尽きないんですが、「新人類」と言われる若い世代に、何かメッセージを。

伊藤 わたし、あんまり新人類で知らないんです。付き合いが無いから。どうメッセージしたらいいのかしら。分らないけれど。本当、なるようになるでしょう(笑)。

田中 新人類ていうのはいくつ位なのかしら。

森下 いわゆる新人類は、十六以下じゃないですかね。

尾上 二十三以下位だと思つてますけどね。もう新人類だらけですよ、この頃。新人類を田中先生はご存知ですか。

田中 いや、わたくし若い方と接触ありますけれど、新人類というような、嫌な人種には会わない。

尾上 マナーとエチケットを完全に自分中心で考えてるのが新人類です。

伊藤 そういう人だったら一人もいません。大体私は年上の人ばかりですから。私が一番若い位で。

尾上 僕もあまり若い人と仕事をしたくないですね。許されるなら、今まで付き合ってきた人だけで、ズツとやって行きたいですね。新人類とはあまり付き合いたくない。

伊藤 でも今のお仕事は、新人類相手ばかりしみたいですね。

尾上 そうです。もうマナーも何も無くなつてしまつて、今の世の中、新人類ばかりです。まずディレクターが

そうです。今ディレクターは二十七、八から三十二、三

までの間の人と付き合つてゐる訳ですね。しかし、フロア・ディレクターとかアシスタントなんかは、みんなもう

二十五、六でしょ。とにかく、全部自己中心的に考えてることでですね。人がしんどいだろうとか、人の痛みを全然

考えない、つてのが新人類。そう、そういう人が結婚したら、これから離婚が増えるのは当然だと思います。

とにかく、感謝しないで育つてきた世代を新人類というんですから。だから多分もたないでしょうね、長い間は。

ああ、こういうこともある、と思わないんじゃないかな。伊藤 教育をちゃんとしているところは、年齢が若くても

ちゃんとしてますよ。私なんか敬語の使い方なんて教えられるわ。

尾上 親次第、家庭次第ですね。

田中 この頃、若い方はとても古風な方が多いと思うんですよ。家を重んじるとかね。わたくしの若い頃なんて二人が好きなら、純粹に恋愛して結婚すればいいと思つたけれど、この頃は家が長男だからどうか、そういうことをまず考えるでしょ。

森下 思うんですけど、十年一昔で、全部のファッションが戻つてゐるんで、新人類なんて言つてゐるけど、マスメディアで働いてゐる人で、十九とか二十とか、二十五以下の奴は凄くトンがってるから、さつき言われたみたいな所あると思います。しかし、それはごく一部であつて、それをまた、マスコミが面白く取り上げるから、いかにもそういう風に思うけれども、結局、十年一昔で帰ることになるような気がする。変化する部分と、ズツと一定してる部分とあつて、表面がグルグル回つてゐるから、表面におつたらいつまでたつても、どこにおるか分らんちゅうところがあると思うね。若い奴は、絶対に今どこにおるか分らない、つて気になつてゐると思う。だから、好きになつたら結婚した方がいいですね。ひとまず、最初に好きになつたら、ドーンと勢いで結婚して。考えてたら結婚なんてできへんから。

尾上 考えてたら結婚できませんか(笑)。

森下 好きやと思つたら、一回結婚したらエエなつて気がするね。アカンかつたら別れたらエエねんから(笑)。

田中 やっぱりやつてみることでしょね(笑)。勇気を出して(笑)。

伊藤 意外と考えてるほど難かしくなりましたね。私も随分考えましたけどね。はたして、私結婚できるんかしら、と思つてましたけれど、まあ無事に相手も出てきたし。五年、単身赴任とは言え続いておりますし(笑)。

★女は、眼識を養わないとあかん

田中 今度、女性も雇用平等法なんかができまして、賃金が同等になるとするでしょ。すると二十四、五のお嬢さまでも、十七、八万もらうとかね。ポリーナス三十五万とかもらうとかいう風になりますでしょ。そしたら優雅

に暮らせる訳ですね。そうすると、その自分と同じような月給の方の所に行つて、それでやりくりするなんて嫌になつちゃうんですね。だから、なかなか結婚に踏み切れなくなつて、二十六から二十八位で結婚しない人が、たくさんいますでしょ。だから、そこら辺がどうなのかなと思いますね。何か、稼ぎの高で男の価値を決めるとかいう風な所があつて。そこら辺が。もっと男の人の価値を違う所で認めるべきだと思ひます。

尾上 僕も昔から、TVなんかに出てくる男と女を見てますとね、恋愛と結婚が、最近是完全に別になりましたから。昔は、恋愛から結婚というコースが残っていました。今年になってから、全然ありませんね。恋愛は恋愛。結婚は結婚。で、条件をキチツと聞いてする、という結婚になつてきました。先生がおっしゃるように、男性がいくら給料を取つてゐるか、とか、そうでない結婚の方が美しいような気がします。「しんどいな。大丈夫かな」という所から出発した方がいいんじゃないかと思うんですけど、今は誰もそんなこと思わないから。みんな、結構お金持ってますよ。無い物が何も無い。その中で結婚するということは、新しいパターンが出てくるんだなと。結婚の思想にね。

森下 でも僕は、思うんやけど、男がブランド商品のバーゲンに並ぶとか、最近ニュースがあるでしょ。ああいう、女と同じことをしていると男の価値が下がると思うね。さつき言われたみたいに、女性も早く結婚するとか、遅いとかあるでしょう。どっちかはええんですよね。早く結婚する人、遅く結婚する人はエエと思うけど、まんなの中の人、ちゆうのはどっちつかずで、ひよつとしたら一生結婚できないかも分らない。だから、それは女性にも男性にも同じことが言えるんであつて、男の商品価値とか女の商品価値を高めようと思うと、違ふことをせんとあかんでしょう。ブランドに並ぶ男性が増えたけど、それでも、そんなに並んでない男も、まだ大勢いる訳です。そういう男は、きつとエエ女と結婚するんですよ。

ね。だから、きつとエエ女を魅きつける魅力がある男性つてのはいるはずなんです。やっぱり。

田中 いいます。だけど、非常に見つけにくいですね。伊藤 女は、眼識を養わないとあかん。表面だけにとらわれずにね。

森下 だから女性は、そういう美しい内に、自分の美貌を売りものにして結婚するか。それとも、ちゃんと仕事をして、ちゃんとした人間の魅力を持つてから、遅く、三十を過ぎてから結婚するか、どっちかやと思うね。だから、その中間の二十五から三十位の女性というのは、非常にヤバイなつて気がする。どっちつかずで。だからもし結婚しないならば、ちゃんと仕事をしなくちゃいけない。結婚したくなつたら、三十過ぎてても、そんな人なら、必ず相手は現われるから。どっちつかずは、どうしようもないと思う。でも、そういうのが大半だから、見てても何も面白くない。

尾上 同感ですね、全く(笑)。

田中 同感ですね。女の方が、いい加減ですね。やっぱり自分が一生続けたい、つて物を一つ持つて、それを一生懸命にやるつてことが大事ですね。

森下 そしたら四十になつても結婚できますよ。

田中 それにしても、現代はいい男がいまませんね。

伊藤 そう、いい男が少ない。

尾上 いい男つてのは、どんな男です？

田中 キチンと仕事して、いつも熱くつて、心が暖かい人ですね。

伊藤 それと、ケチな人は嫌。お金を持っているのに、出す時に、グズグズされると、いっぺんに嫌になつてしまふ(笑)。それなら、まだ無い方が、無くて出せない方がよっぽどマシやわ(笑)。

尾上 いずれにしても、男性にしろ、女性にしろ、自分の仕事に一生懸命な人が魅力的だということですね。

森下 自分の仕事に熱くなつてれば、結婚も仕事も年齢なんて関係ないと思うね。(北野町/お可川にて)

〈2〉思い出のアルバムより

結 婚

やかにっており、スピーチもろくく聞けないあわただしさ。
中にはまったく聞けず、後日ビデオで聞いたという人も……。



長内秀次・靖子<劇団自由劇場俳優>
86年8月2日挙式
式場/生田神社社会館 新婦旅行/青森ねぶた祭

♡結婚を機会にもっといい俳優さんに……

結成20年目を迎えた自由劇場の10年選手長内さんと神戸で挙式。東京から10人程劇団の人もしらして。「結婚を機にもっといい俳優さんになって…」吉田日出子さんの言葉。頑張りたいと思います。靖子

井上一也・朝子<榊ファミリア勤務>
86年5月11日挙式
式場/ボートピアホテル 新婦旅行/カナダ



♡結婚式は荘厳なものだ、と思っていたのに……

乾杯の後、式のムードが一変。(株)ファミリアの松上課長がその張本人。「朝子さんももう年だし…あつ、いや、まあ、その早くお子さんをつくって下さい。」本当に!もう!それからはずっかりリラックス。

石坂裕・智子<ハスタンゲイト通信勤務>
85年11月16日挙式 式場/神戸風月堂ホール
新婦旅行/シンガポール・マレーシア



♡ずっと笑いころげてた花嫁さん。

2人がお色直しでぬけてる間に、こそつと出て来て新郎の悪口を並べてた人、「新郎の智子さん」と言ってしまった私の親友、「あまり若くない2人ですが今後ともよろしく」と言った父のあいさつ……。



福田浩二・順子ハススタジオカンパニー勤務
86年5月24日挙式 式場/ポートピアホテル
新婚旅行/来春オーストラリアへ行く予定

♡先輩や友人達の心配と期待の中で新事業開始。

そう若くない2人の結婚については「早く子供の顔をみせてほしい。」とのスピーチ。人生の転期というべき結婚に伴い、今年は独立して事業を始め、2人で力を合わせ頑張っています。



三輪裕範・久美子ハ伊藤忠商事勤務
86年4月26日挙式
式場/ポートピアホテル 新婚旅行/ヨーロッパ

♡スピーチはすべて英語、友人が通訳をしてくれました。

“お互い1人1人の力が大きく1つにまとまることによって、人生における喜びや悲しみに向っていくことができる”海星女子学院大学 マージョリー・ショワーズ教授より。

’86結婚特集/「結婚物語」

’86ザ・

’85～’86年にご結婚なさった神戸っ子
12組のカップルに、披露宴で印象に残
ったスピーチをお聞きました。

最近の披露宴は、お色直しも年々華



皆川広一・洋子<神戸新聞社勤務>

85年7月6日挙式

式場/ポートピアホテル 新婚旅行/ハワイ

♡「本物の男と女の出会い……。」

数多くのスピーチを頂きましたが、格言っぽいものばかり、その中で会社の上司の方が言われた「本物の男の女の出会い……。」という言葉が、簡潔明瞭で、かえって心をうちました。



松谷年郎・美奈<赤紅屋勤務>

85年10月22日挙式 式場/ポートピアホテル
新婚旅行/宮古島・台湾

♡伴侶を持つ事の、責任の大きさを痛感

披露宴では、10数人もの多くの方々よりお祝いのお言葉を頂きましたが、その中で何人かがおっしゃった、2人で生活してゆく事の大変さ、相手の思いやりが大切という言葉が心に残っています。

岡崎晋・祥子<関西電力機勤務>

86年5月5日挙式 式場/オリエンタルホテル
新婚旅行/アメリカ西海岸

♡夫と妻の役目とは？

「サラリーマンとは、人から与えられた舞台で自分なりの演技を演じる役者であり、それを片そででジッと見つめている妻は、後で“よくやりましたね”とはげます役目。」というお言葉が印象的でした。



中島信嘉・靖子<自営業>
86年3月13日挙式 式場/湊川神社 披露宴/
トム・キャンティ 新婚旅行/北海道

♡「お友達だけのおめでとうパーティー」をトムキャンティでパーティーでは普段仲良く付き合っている友人ばかりだったので、言いたい放題。私の友人が“赤いくつ”の賛歌を歌ってくれたのですがヒゲだらけの彼なので、私が熊さんに連れて行かれた形になってました。



橋本達成・悦子<酒販業>
86年4月29日挙式 式場/六甲オリエンタルホテル 新婚旅行/オーストラリア

♡男は^{イチ}1であり、女は^{ゼロ}0である

「男は^{イチ}1であり、女は^{ゼロ}0である。男が常に前にいれば、女は後ですなわち10となる。しかし女が前に立つと、それは^{ゼロ}0となる。」私（悦子）の元職場の先輩であり、友人でもある方の弁。



野口博史・森子△三木緑ケ丘中学校教員▽
86年5月11日挙式
式場／パレス神戸 新婚旅行／ハワイ

♡ヨットで2人だけの船出…

「人生はヨットのようなもの、気を許せば沈みもするが、智恵をもって進めば、風上へと進む事が出来る。2人力を合わせて、いかなる荒波にも立ち向かい航海する様に。」恩師より頂いた言葉。



正井哲也・智子△コンピューターサービス勤務
務▽85年8月4日挙式
式場／ポートピアホテル 新婚旅行／ハワイ

♡ウェディングケーキは幸せをもたらす…

「結婚式にはウェディングケーキが必要で、新郎新婦がそれを食べて裕福と幸せをもたらし、出席の方々に分けて差し上げることが幸せを約束する意味がある。」新郎の会社の専務のスピーチ。



澤田伸治・喜代△朝リクルート勤務>
86年6月7日挙式 式場／青屋カトリック協会
披露宴／グラシアニ 新婚旅行／グアム

♡スピーチは、笑いの渦の中！

「人間、辛抱が大切なんです。今まで待って甲斐があったね。」「やっと白馬の王子様が迎えに来てくれたね。」「後輩が憧れるようなやさしさあふれる暖かい家庭を築いて下さい。」等々…



'86結婚特集／「結婚物語」〈3〉 最近結婚事情

結婚にもクールなんです ハイテク時代の“新人類”

“エリートお嬢さま”はこわいのです

「今の十代の方は、なかなかしつかりしていますよ。ほら、この手紙をご覧ください」

霊占いの安中裕恵さんの手許にある二通の手紙。十六歳と十九歳の女性からのもの。いずれも以前、安中さんの許を訪れた少女からの便りだ。

「ナイーブなんです。将来の計画性もそれなりにあるんですよ。十八歳になったら結婚をして云々など」とあ

る。将来の青写真がかいま伺える。

時代とともに結婚についての意識や内容も変わって来ているに違いない。とくに“新人類”などとマスコミ用語で呼ばれている近頃の若いモンにおいてははどうだろう。いわば結婚にまつわる最近の事情の一端を紹介してみようということで、幾人かに話を伺ってみた。

十年前に北野のマンションの一室で霊占いを始めた安中さん。四柱推命とタロット占いを専門とする。

当然、結婚についての相談も多いだろうと訪ねてみて、まず十代の少女の話となったわけだ。

「女性の場合、妻となり母親となる運命の人と、自分の才能を生かしてひとりで生きて行く人と、生まれながらに運命が決っているもんなんです」

“星”がすべてを司どる。たとえば昭和三十四年生まれ、つまり五黄の星をもっている女性には、なぜか結婚にもたっている人が多いらしい。

最近の若いモンについて。

「昔と違って、結婚が人生の最大事だという考えはあまりないようですね。ただお気の毒なのは一人娘の場合」とくに旧家で財産でもあれば、当人にとってこれほど



花嫁姿は“永遠の憧れ”(写真提供・神戸オリエンタルホテル)



最近は教会での挙式が人気を呼んでいる（於神戸 YMCA）

不幸なことはいらない。

「親の押しつけで結婚をしたけれど、という方が多いですね。だから逆に結婚相手は親におまかせという人もあるんです。私が勝手に選んでも、どうせ親が許してくれないから、というわけなんです」

昨今は、やたらと「お嬢さま」がもてはやされている。

そういうお嬢さまのいらっしやる家庭は、結婚一つにしても今もってなかなか難しいようだ。お嬢さまブラスエリート意識のある人は、安中さんによると、「こわい」。

「やはり苦勞のない人たちはダメです。この頃は男性も責任感が薄くなっています。妻子を養うという気概がありません。独身時代と同じ振舞いなんです。男女ともに共同生活を築くという意識をもつて欲しい。今の若い人たちを見ていると、気が合うからというだけで結婚をしている感じ。結婚とは、お互いに犠牲になることなんです。どんなに苦勞をしてでもいいという

考えで結婚生活を始めて欲しいですね」

安中さんがいう「結婚の条件」とは。

まず相性が合うこと。次に育った環境がそこそ似ている方がよろしい。三つ目は、お人柄。そして最後に将来性。間違っても見てくれで判断してはダメ。

えっ、結婚も「福祉行政」の一環なんですか？！

あまり知られていないが、神戸市には公立の結婚相談所がある。

湊川神社西門前の神戸市立総合福祉センターの三階にある神戸市立中部老人福祉センター。そこで結婚相談を受けつけている。

「正しい結婚思想の普及と啓蒙、挙式の改善、家庭生活の合理化の指導」。これは、昭和四十六年に出版した『センタのあゆみ』のなかの結婚相談の項からの抜き書き。いかにも大時代だと感じるが、そもそも、この結婚相談室の開設は戦後すぐにまでさかのぼる。

「戦後すぐの混乱期に、生活援助の一環として創設されたようです」と坂上正明同センター所長は話す。結婚をも福祉問題の重要な一つのファクターとしてとらえていたわけだ。

当時は戦争で生活環境も荒廃し、積極的に自分から相手を見つけないという状態でもなし、また、世話をする人もいない。「戦争未亡人」の問題もあった。そういう世相を背景に、福祉という観点から結婚がとらえられていた。

「時代が変わりましたね。すべてがオープンになり、自分の主張が通り、自分で相手を見つかる時代」である今こういう見方はすでに「時代遅れ」ではないかとの考えが坂上さんにはあるようだ。

昨年度（四月～三月）の結婚相談の総数は、男1613名、女1128名。ただし、これは延べ人数で七月末の有効申込者は205名（男120名、女85名）。昨年一年で153組が見合いにまでこぎつけたが、成立し



「結婚生活は苦勞して繁くもの」と安中さん

たのは四組。

登録者の資格は、神戸市在住者または市内勤務者に限られる。初婚の場合、男性は三十歳台が最も多く、女性は三十歳までが殆んどで、四十歳台になると極端に数字が落ちる。逆に再婚となると、女性の場合、二十歳台ですでに希望者がある。

その内訳は次の通り。

まず男性の場合、初婚は20歳台が23人、30歳台が62人、40歳台が8人、50歳台が2人、女性は同じく20歳台が42人、30歳台が32人、40歳台が4人、50歳台が1人。

これが再婚となると男性の場合、20歳台はゼロ、30歳台で13人、40歳台で10人、50歳台で2人、女性は20歳台で1人、30歳台で3人、40・50歳台が各1人となっている。

「いろいろ見ていて感じるの、やはり、なぜ結婚する

のか、という根本的な「理念」。これが必要だと思えますよ。それが今はなくなっているのじゃないでしょうか」

仕事、仕事の「ミニ増」がゾロゾロっと：

「男ひでり」は三百人の内、一人か二人。それが最近の女子大生を中心とする若い女性の実態だとおっしゃるのは、哲学者の細川董先生。関西女子美術短大で哲学の講義をもったり、日曜日には自宅で料理教室を開いている関係上、若い女性の動向には詳しい。

「最近の若い女性は、今つき合っている男と、あこがれの男性とはきつちりと区別していますよ。たとえば外人ミュージシャンに熱をあげ、到底結婚は無理だけれど、ひよっとしたら、という夢ももっている」そうで、なかなか可愛いところもあるのだが、「一方では、つき合って一カ月ほどでもうホテル入り」という「セックスフレンド」はちゃんと確保している。結構、楽しんでるわけだ。

「男ひでりの女の子、これはもう性的欲求不満でヒステリーですわ。だから前に僕が月刊神戸っ子に連載した『女体百景』なんか読まずでしよ。するとヒステリーが治るんですよ」

婚期を逸するとか、行き遅れの女性を細川流にいうと「ミニ増」。一人っ子で親の期待が大きく、しかも本人も気位が高くてという「悪条件」が重なっている女性も結構いるようだ。

「見合い百回とか、そういう人もいますよ。この間、106回目でやっとゴールインしましたが。ところが最近夙川あたりでも、それに見合う「お坊ちゃん」がまた多く売りに出されているんですよ」

最近の女性で、どうしても結婚を、と思っている女性は少数派になっているのかも分らない。今の女子大生の第一の関心事は仕事なのだそう。

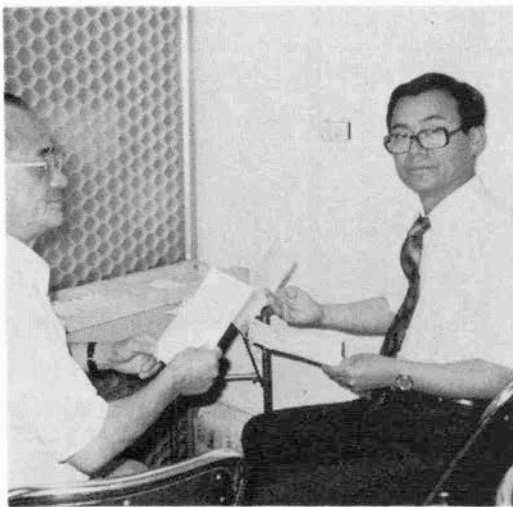
一昔前には、先生、私、結婚できるでしょうか、という相談が多かったのが、今は就職相談。私、ホステス、

務まるでしょうか、と真剣に相談されることもあるそう
だ。水商売も女子大生の間では就職先としての「市民権」
を得ているのだろう。「これは十年前にはなかったこと
ですよ」と細川教授。

これからは、ますます、かつてのように男に頼る女性
の数が少なくなっていく。男一人の腕で出来ることは、
たかが知れているとの認識がはつきりして来たというこ
と。だから女性も男性と同様に仕事をもつことが当たり
前になって来ている。関西女子美術短大にも、会社を辞
め、手に職をつけるために短大に入り直している人も多
いそうだ。

「一言で今の若い女性を表現すると、悟っているとい
う感じですね。恋や結婚に酔うってこと、今はもうない
んじゃないですか。醒めてますよ。我々の世代「昔の眼」
から見ると、あったかい心がなく、もの足りない、淋し
いなという感じ」

昨今、流行りの不倫。これが少し前なら、それこそ、
先生、どうしましょう、と顔面蒼白になって相談に来
た。今や不倫の相談は五十人に一人ぐらいの割合とか。



結婚希望者は、まず書類で相手を捜す(右が坂上所長)

それも醒めていて、顔色なんか微塵も変わらない。一つ
のファッションだと思っているのかも分らない。
いや、結婚そのものがファッションと化しているのか
も分らないと細川さんは見る。

「最近の見合いのOKの基準はフィーリング。フィーリ
ングが合うかどうかだけ」

悟って醒めて、いやはや「新人類」は大人になったも
のだ。今や意地を通して、親と大喧嘩をしてまで結婚を
するということもなくなった。これがダメでも、もう少
し待てば次の相手が出て来るだろうと思っている。

「この頃の若い人の話題の中で、お互いの結婚観、恋愛
観なんてことは主役の座から下りていきますね。やはり仕
事。時代が変わって来てるんですよ」

ハイテク時代の結婚、さてどうなる？

この世に男と女がいる限り結婚はつきまとう。

最近、新聞紙上を賑わしている男女産み分け法や人工
受精、さらに精子銀行と、この世界にも「技術革新」が
進んで来ている。お見合い一つとってみても、最近のコ
ンピューターばやり。お見合い写真ならぬお見合いビデ
オも結構需要がある。決して安い値段ではない。

しかし何十万円使っても、それで「いい相手」が得ら
れれば安いものだという考えが若いモンの中にも多いそ
うだ。

細川先生の指摘のように、クールになっているのかも
分らない。しかし坂上所長の言うように「結婚とは何ぞ
や」ということを、やはり一つきつちりと押さえたい気
がする。今の若いモンには人気がないテーマかも知らな
い。安中さんは「楽しくなくって何のための結婚です
か」と言う。勿論、楽しいといっても面白おかしくとい
うことではない。苦勞をも楽しさと見立てる心意気のこと
だ。と、こんなことを言い出すから「旧人類」と言わ
れるのだろう。

新人類諸君！ 健闘を祈る。